

東北ブナ紀行（78）

奥田 博

紹介していなかった山形の二つのブナ山を紹介します。いずれも 1000m前後の低い山ですが、ブナはシッカリと残っています。

120) 雨呼山（あまよばり）905m

雨呼山とは、ズバリ雨乞いの山ということが分かる山名だ。天童市の西側にそびえる目立たない存在。コース途中にある龍神ノ池がその舞台で、そこに棲む龍神様を怒らせて雨を降らせるという伝説がある。ジャガラモガラという珍しい名前のある場所は、東西 90m、南北 250mの大きなすり鉢状の窪地。ところどころに風穴があり、その風穴からは真夏でも 3℃~7℃の冷風が出ている。県指定の天然記念物に指定され、季節にはヤナギランはじめ多くの花が咲いている。



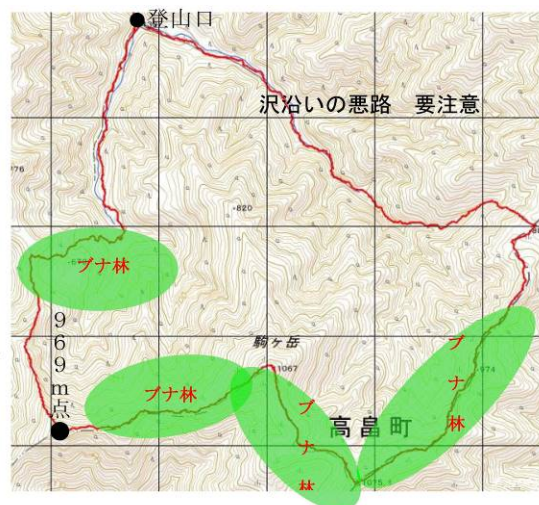
林道途中の駐車場から歩き始める。まずは北側の森をたどる。スギ人工林を東に向かい、ジャガラモガラからの道と合流する。ここから急坂を越えると尾根歩きとなり、雨乞いの龍神ノ池となる。大杉に囲まれ祠の祀られた可愛い水溜りがあるだけだ。

この先からブナの木が現れる。以前に人の手が入った証のアガリコ状態が多い。前峰から少し下って登り返すと山頂だが、この周辺は、変形したアガリコブナ林だ。形の面白さを楽しんで、藪の中を歩き回った。コースタイム：登山口（1時間50分）山頂（南尾根・1時間20分）登山口

121) 米沢駒ヶ岳 1067m

福島市と米沢市の県境にそびえる米沢駒ヶ岳は、地味な山である。以前からコースは整備されていたが、国道 13 号線が高速道路化されて、福島からは身近になった感のある山だ。

林道を周回登山口まで入って歩き出す。しばらくは沢沿いの林道を歩き、やがて沢を離れ急坂を歩き出す。既にブナの森を歩くが、手の入った細い木々が多い。やがて尾根をたどるようになると、時折展望が得られる。さらに 969mピークまで登れば、主尾根となる。駒ヶ岳手前に広がるブナの森が素晴らしい。恐らく二次林から育っている森だろう。山頂を越えてもブナの森は続くが、手は入っていない様子。福島県境の尾根は偏西風に晒されることもあり、ブナは痛めつけられているような木が多いようだ。



豪士山手前から沢沿いの道を下ったが、道は荒れており危険箇所もあった。このまま、豪士山を経て豪士峠から尾根を下った方が、良さそうに思った。コースタイム：登山口（2時間40分）山頂（1時間20分）豪士山分岐（1時間15分）登山口

